

GLOBAL  
CROSSVALUE  
PLATFORM

**Marubeni**

2019.12

2019年度 第3四半期決算 IR資料

2020.2.5 証券コード：8002

**将来見通しに関する注意事項：** 本資料に掲載された予測および将来の見通しに関する記述等は、本資料の発表日現在における入手可能な情報、一定の前提や予期に基づくものです。よって、実際の業績、結果、パフォーマンス等は、経済動向、市場価格の状況、為替の変動等、様々なリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があります。当社は、本資料の情報の利用により生じたいかなる損害に関し、一切責任を負うものではありません。また、当社は、本資料に掲載された予測および将来の見通しに関する記述等についてアップデートする義務を負うものではありません。

(注記事項)

- \* 純利益：親会社の所有者に帰属する四半期利益/当期利益
- \* 2019年度見通し/2020年3月末見通し：2020年2月5日に公表した通期見通し
- \* 実態純利益：純利益から一過性要因を控除した概数を表記。一過性要因の明細についてはIR補足資料P3に記載。
- \* 基礎営業キャッシュ・フロー：営業キャッシュ・フローから営業資金の増減等を控除。なお、2018年度第3四半期決算より、基礎営業キャッシュ・フローの算出方法を変更しております。本変更に伴い、過年度の計数についても更新しております。
- \* 新規投資、CAPEX等、回収：投資キャッシュ・フローで認識している項目に加えて、一部財務キャッシュ・フローで認識している項目を含みます。
- \* CAPEX等：既存投融資案件の価値を維持・向上するための追加的な設備投資等
- \* P4「03 純利益・実態純利益の推移」：分野別の分類：2017年度以前は『2018年度の組織』に基づき分類、2018年度・2019年度については、『2019年度の新組織』に基づき分類しております。  
分野別の分類 資源分野：『2019年度の新組織』=「エネルギー」と「金属」の合計から鉄鋼製品事業部を控除したもの（『2018年度の組織』=「エネルギー・金属」から「鉄鋼製品事業」を控除したもの）  
その他：『2019年度の新組織』=「次世代事業開発」と「その他」の合計（『2018年度の組織』=「その他」）  
非資源分野：全社合計から資源分野とその他を控除したもの
- \* P8「07 セグメント別 損益の状況」：2019年4月より「食料」、「生活産業」、「素材」、「エネルギー・金属」、「電力・プラント」及び「輸送機」としていたオペレーティング・セグメントを、「ライフスタイル」、「情報・不動産」、「フォレストプロダクト」、「食料」、「アグリ事業」、「化学品」、「電力」、「エネルギー」、「金属」、「プラント」、「航空・船舶」、「金融・リース事業」、「建機・自動車・産機」及び「次世代事業開発」に再編しております。これらの変更に伴い、前年同期のオペレーティング・セグメント情報を組み替えて表示しております。

# 01 2019年度第3四半期累計期間 連結決算の概要

(億円)

	2018年度 Q1-Q3	2019年度 Q1-Q3	前年同期比	2019年度見通し	
				19/11/5公表	20/2/5公表
純利益	2,196	1,456 (進捗率73%)	-740 (-34%)	2,400	2,000
実態純利益	1,900	1,740 (進捗率74%)	-160 (-8%)	2,420	2,340
基礎営業 キャッシュ・フロー	+2,762	+2,730 (進捗率74%)	-32 (-1%)	+3,900	+3,700
株主還元後フリー キャッシュ・フロー	+83	+174	-	+1,000	±0*
	2019年3月末	2019年12月末	前年度末比	2020年3月末見通し	
				19/11/5公表	20/2/5公表
ネットDEレシオ	0.90倍	0.89倍	0.01ポイント 改善	0.8倍程度	0.9倍程度*

\*2019年11月7日に公表した米国航空機リース会社Aircastle Limitedの持分追加取得の影響を含みますが、当該持分追加取得は、2020年6月末までの完了を想定しており、特定日までの完了を確約するものではありません。

なお、上記の影響を含めない場合の見通しは、株主還元後フリーキャッシュ・フロー（2019年度見通し）が +1,200億円程度増加し、ネットDEレシオ（2020年3月末見通し）が 0.06倍程度低下します。次ページ以降についても、上記と同様の前提で数値を表示しております。

# 01 2019年度第3四半期累計期間 連結決算の概要

## 2019年度第3四半期累計期間 連結決算の概要

**純利益は1,456億円。前年同期比△740億円(-34%)減益**

純利益の減益△740億円の内訳

- 実態純利益の減益△160億円(-8%)  
(非資源は△210億円の減益：電力、フォレストプロダクツ、アグリ事業等、資源は+70億円の増益：金属)
- 一過性要因に関する損益の悪化△580億円【2018年度Q1-Q3: +290億円 → 2019年度Q1-Q3: △290億円】  
(主に前年同期に計上したアルテリア・ネットワークス子会社化による評価益等の反動、及び、当期における石油・ガス開発事業の減損損失等の計上)

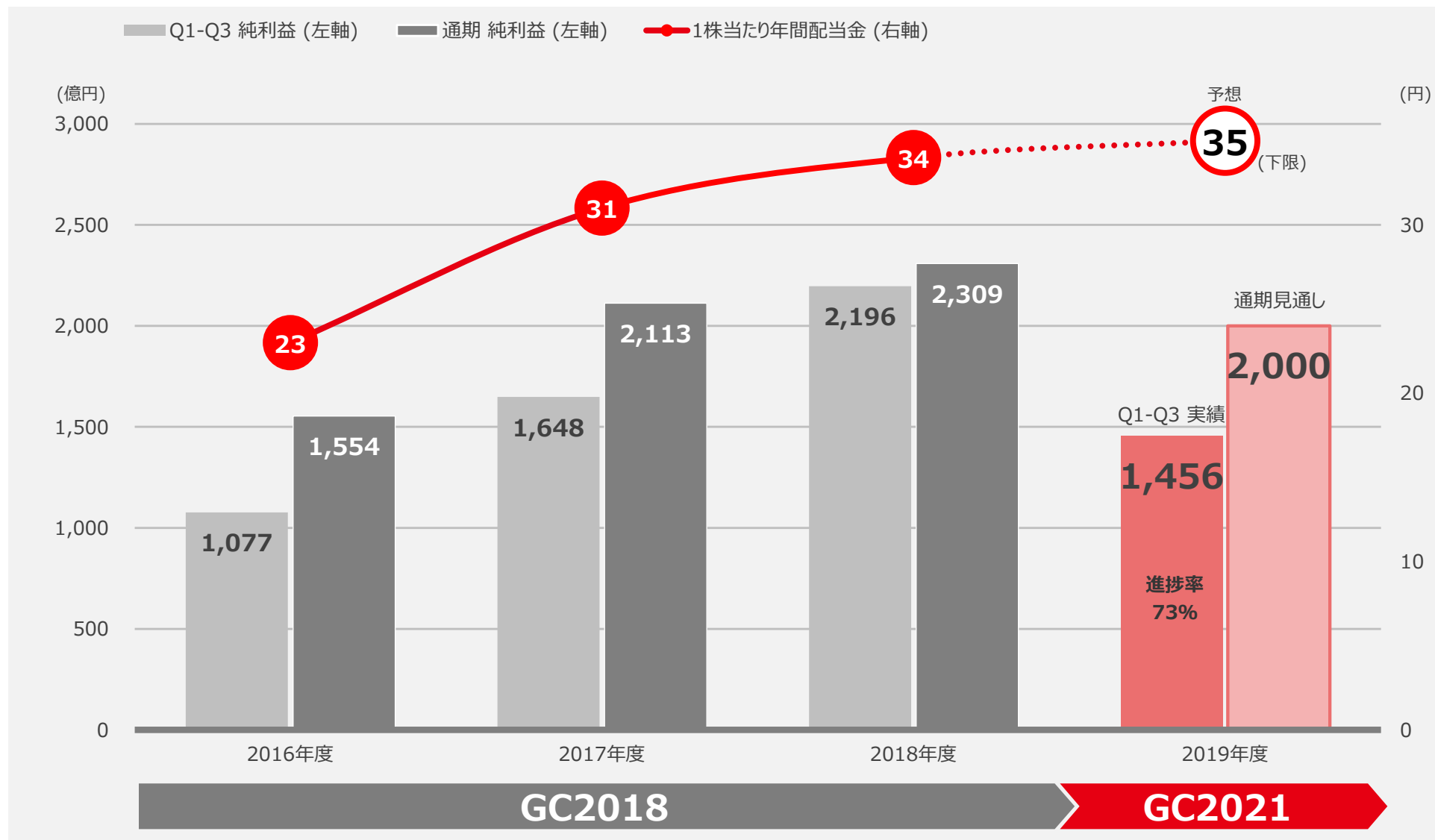
**ネットDEレシオは前年度末比0.01ポイント改善の0.89倍**

- 基礎営業キャッシュ・フローは+2,730億円。前年同期比△32億円
- 株主還元後フリーキャッシュ・フローは+174億円

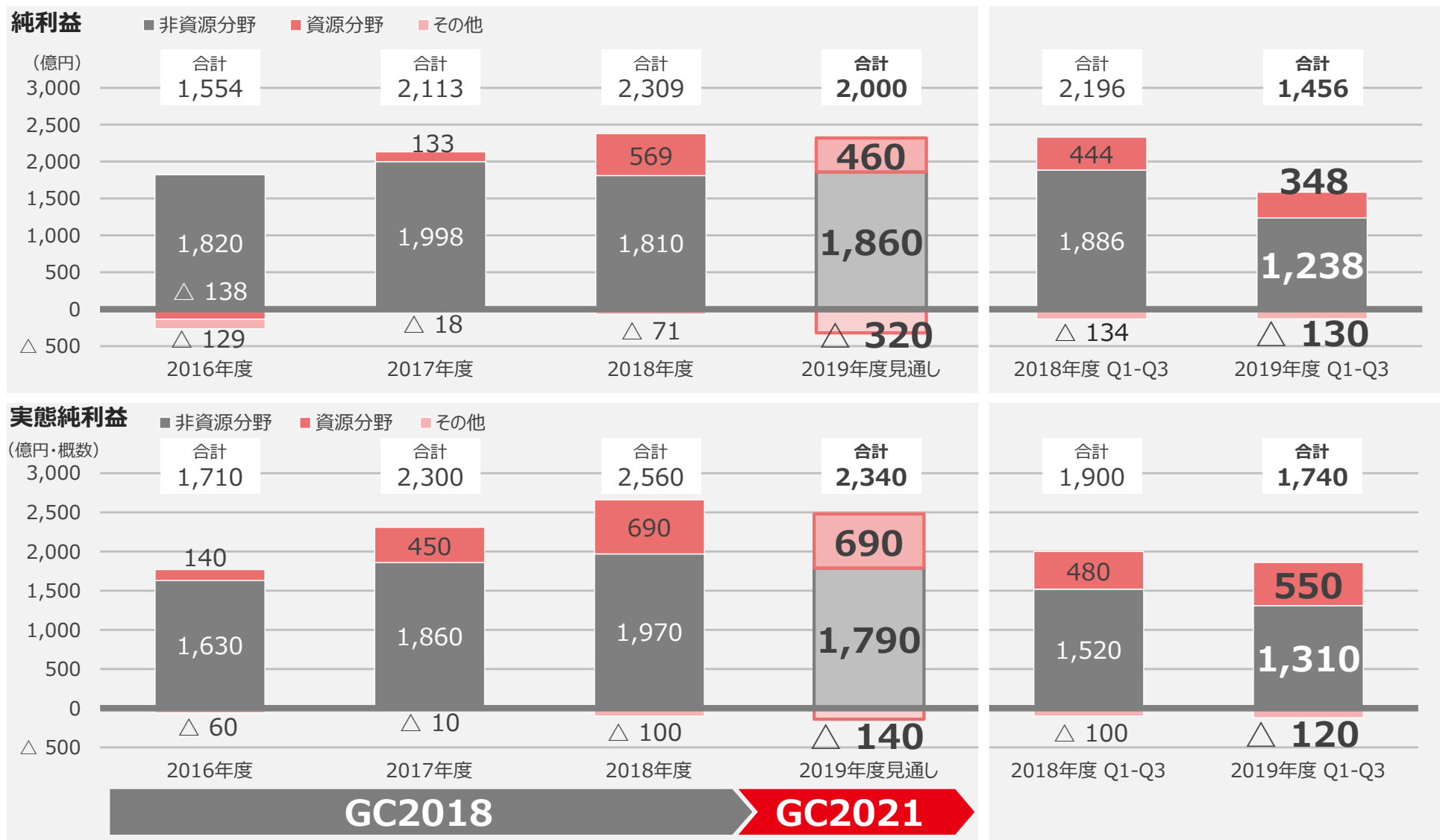
## 2019年度 見通し

**純利益は2,000億円、ネットDEレシオは0.9倍程度に修正  
年間配当金は前年度比1円増配の1株当たり35円を下限とする**

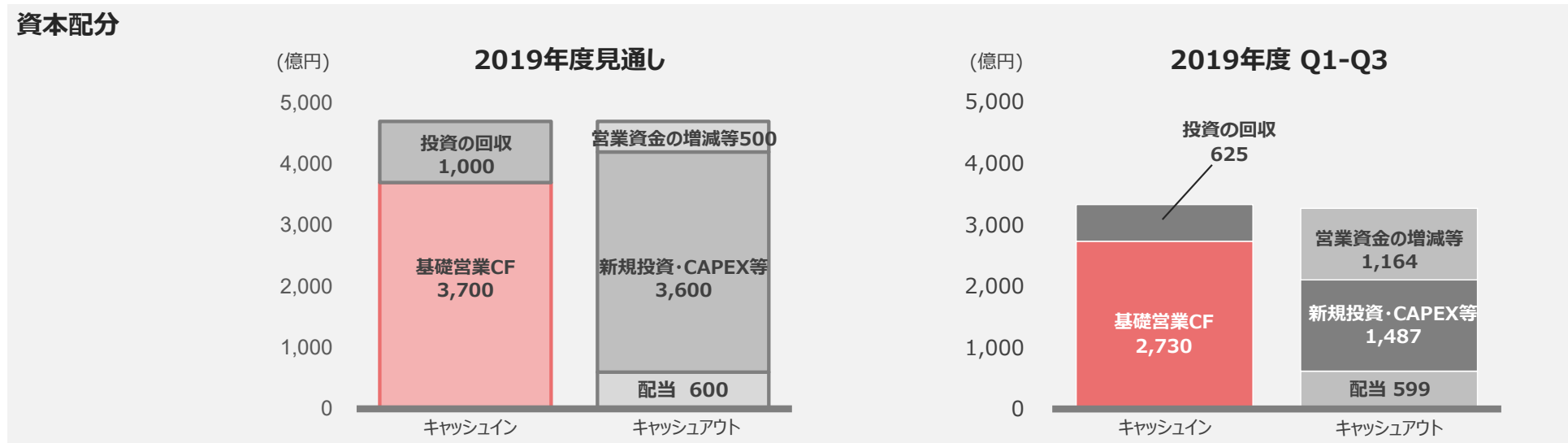
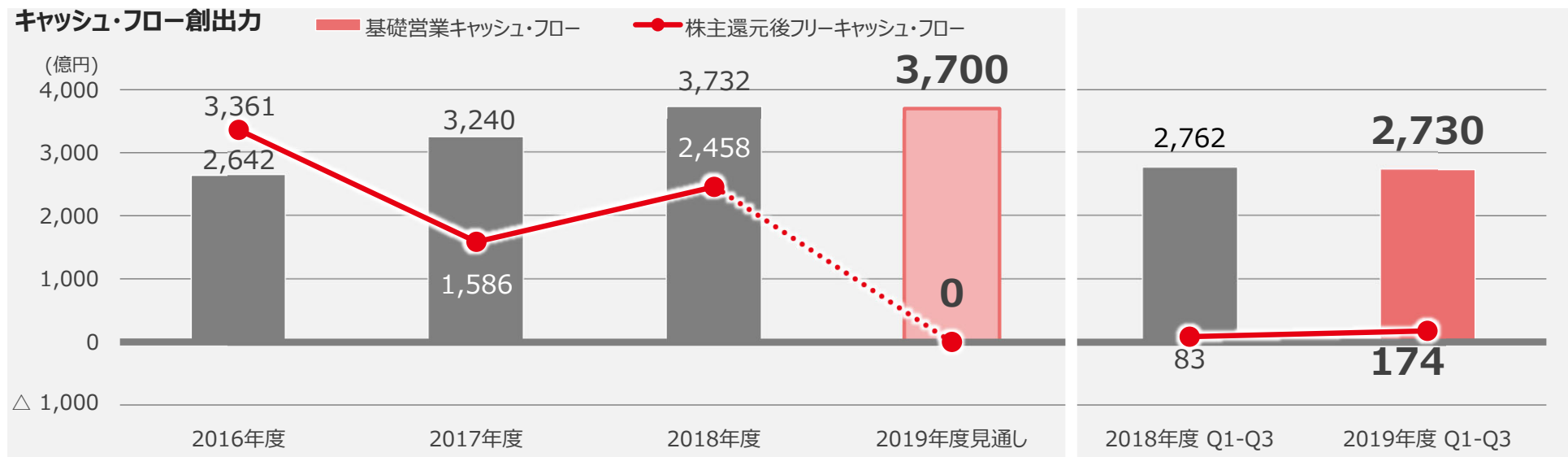
## 02 純利益と年間配当金



# 03 純利益・実態純利益の推移



# 04 キャッシュ・フロー創出力と資本配分



\*債務返済：有利子負債、リース債務等の返済

## 05 新規投資と回収 2019年度第3四半期 主要案件

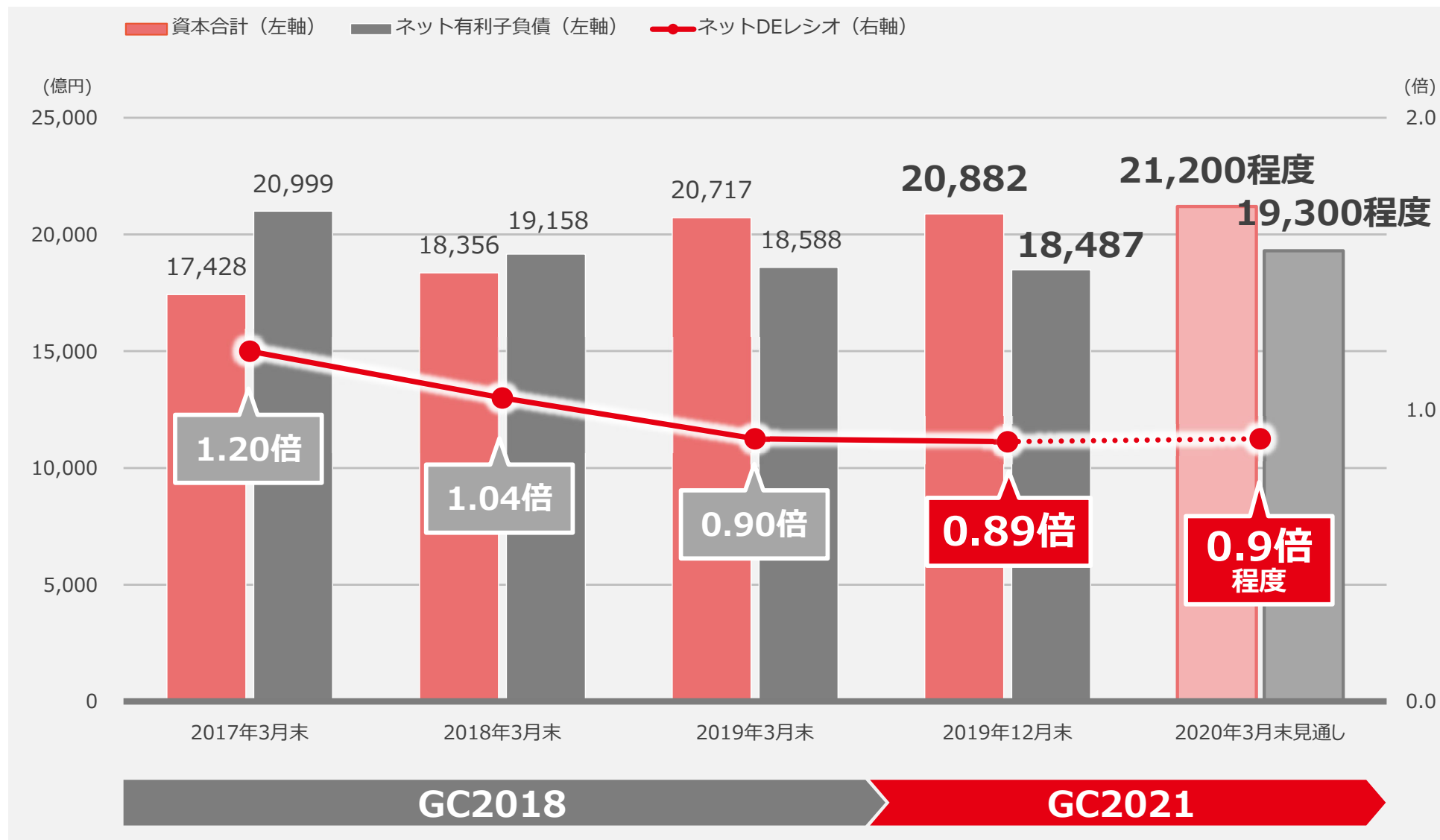
(億円)

	2019年度 Q1-Q3			2019年度主要案件			2019年度 見通し
		ホライゾン1	ホライゾン2	ホライゾン3			
新規投資+CAPEX等	△ 1,487		△ 819	△ 537	△ 130		△ 3,600
新規投資	セールス&マーケティング事業	△ 373		△ 278	△ 95	・飼料添加剤販売事業追加出資(オランダ Olympus Holding (Orffa社)60%→80%) ・肉牛の処理加工・販売事業拡張(米国Creekstone Farms社) ・農業資材販売事業(ブラジルAubos Real社) ・建設機械販売代理店事業追加出資(トルコTEMSA社49%→90%)	△ 2,500
	ファイナンス事業	△ 90		△ 54	△ 36		
	安定収益型事業	△ 122		△ 122	-	・水事業追加出資(ポルトガル・ブラジル AGS社50%→100%) ・海外発電事業	
	資源投資	-		-	-		
CAPEX等	資源投資関連以外	△ 803	△ 803			・農業資材関連事業(米国 ヘレナ社)	△ 950
	資源投資関連	△ 98	△ 16	△ 83			△ 150
回収	+625					・豪州PPP事業・国内小売事業(相鉄ローゼン)・海外発電事業	+1,000
合計	△ 861						△ 2,600

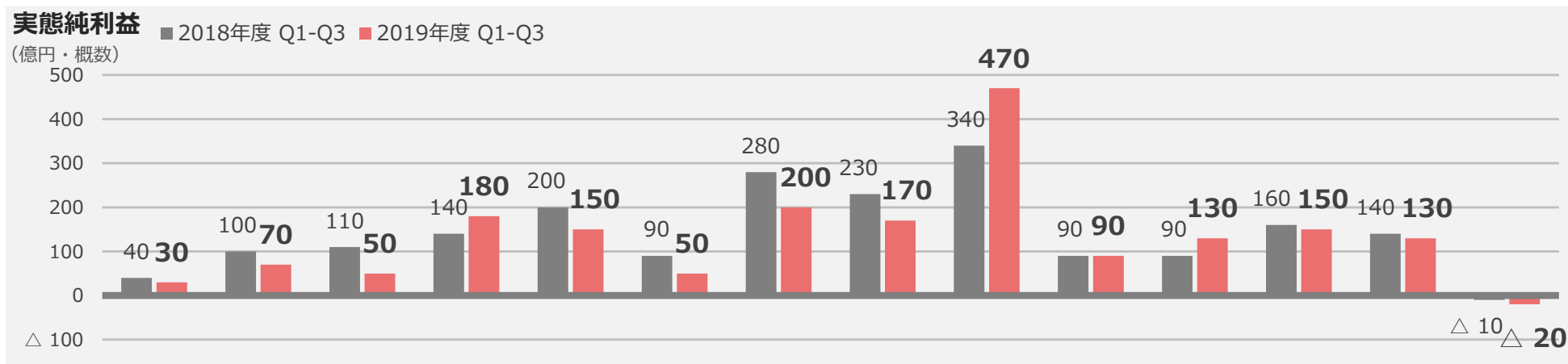
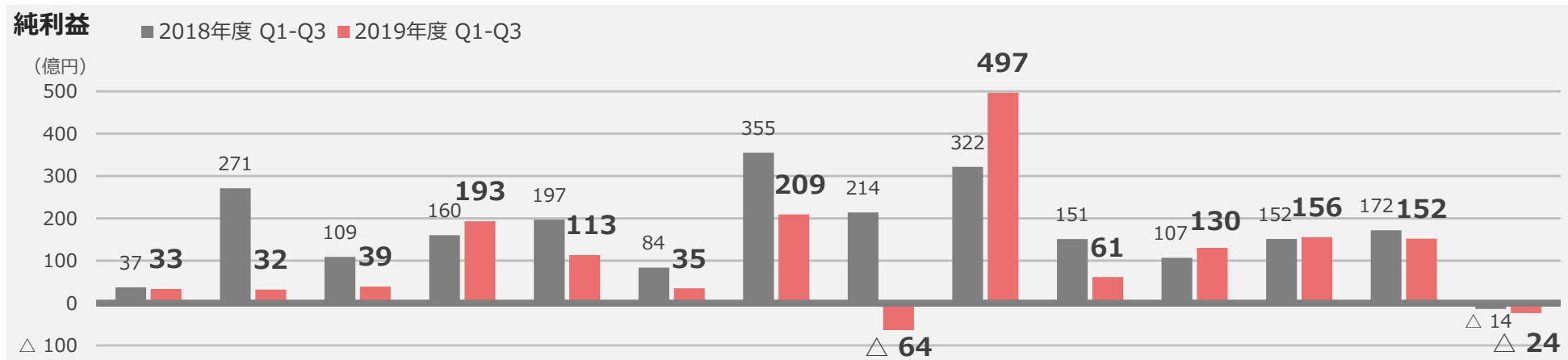
\*ホライゾン1：既存事業の充実、ホライゾン2：既存事業領域の戦略追求、ホライゾン3：現状では取り込めていない成長領域、新たなビジネスモデル



# 06 ネットDEレシオ

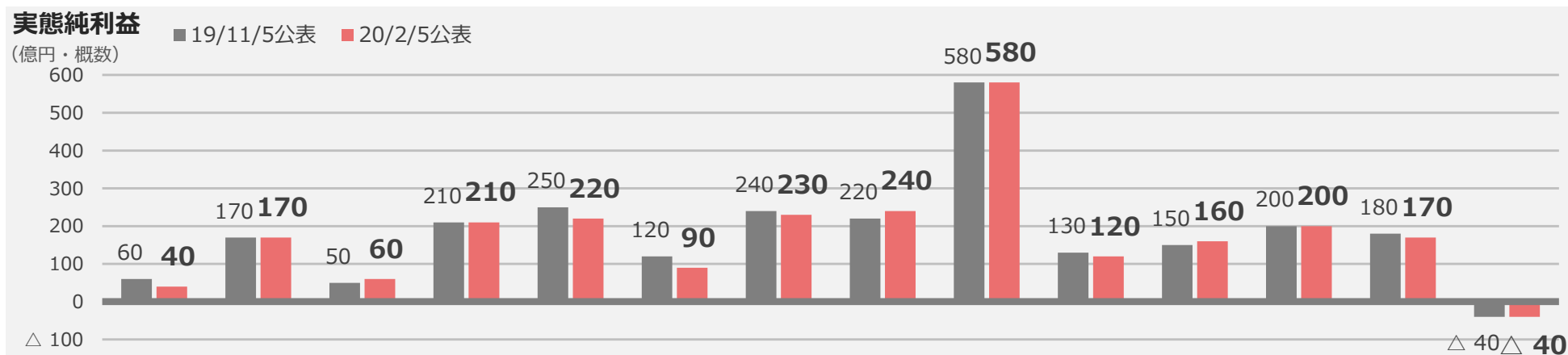
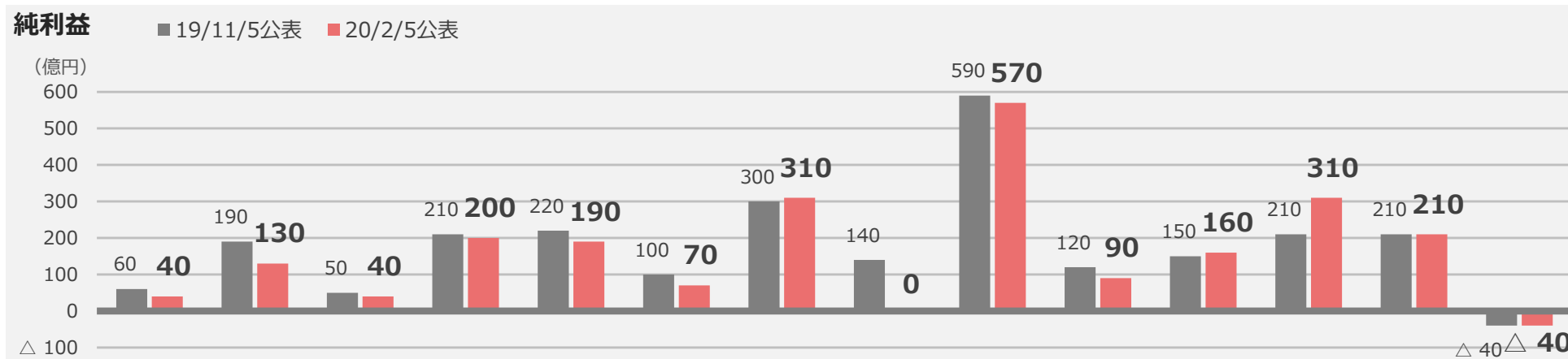


# 07 セグメント別 損益の状況 2019年度・2018年度 第3四半期累計 実績対比



ライフスタイル	情報・不動産	フォレストプロダクト	食料	アグリ事業	化学品	電力	エネルギー	金属	プラント	航空・船舶	金融・リース事業	建機・自動車・産機	次世代事業開発
生活産業			食料・アグリ・化学品			電力・エネルギー・金属			社会産業・金融				

# 08 セグメント別 2019年度損益の見通し 20/2/5公表・19/11/5公表 対比



ライフスタイル	情報・不動産	フォレストプロダクト	食料	アグリ事業	化学品	電力	エネルギー	金属	プラント	航空・船舶	金融・リース事業	建機・自動車・産機	次世代事業開発
生活産業			食料・アグリ・化学品			電力・エネルギー・金属			社会産業・金融				

## 09 市況・資源 持分生産量／販売量

市況		2018年度 Q1-Q3平均	2019年度 Q1-Q3平均	前年同期比	2018年度 通期実績	2019年度見通し		感応度 *4 (対、年間純利益)
						19/11/5公表	20/2/5公表	
原油	WTI価格 (ドル/バレル)	66	<b>58</b>	- 8	63	58	<b>58</b>	約4億円/[1ドル/バレル]*5
銅	LME銅価格 (ドル/トン) *1	6,459	<b>5,977</b>	- 482	6,369	5,950	<b>6,050</b>	約10億円/[100ドル/トン]
金利	円 TIBOR 3M (%)	0.069	<b>0.068</b>	0.001 <sup>ホ</sup> 引 下落	0.069	0.1	<b>0.1</b>	
	ドル LIBOR 3M (%)	2.434	<b>2.207</b>	0.227 <sup>ホ</sup> 引 下落	2.497	2.1	<b>2.1</b>	
為替	円/ドル 期中平均レート (円)	111.14	<b>108.67</b>	2.47円 円高	110.91	107	<b>109</b>	約12億円/[1円/ドル]
	円/ドル 期末レート (円)	-	<b>2019年12月末 109.56</b>	前年度末比 1.43円 円高	2019年3月末 110.99	2020年3月末 107	<b>2020年3月末 109</b>	

持分生産量／販売量		2017年度 通期	2018年度 通期	2019年度 期初計画
石油・ガス	持分生産量 (千バレル相当/日量)	28	30	<b>29</b>
	上段：石油・ガス開発事業 *2 下段：当社持分合計 *3	33	34	<b>33</b>
銅	持分販売量 (千トン)	121	133	
原料炭	持分販売量 (千トン)	6,170	5,668	

\*1 Q1-Q3は3月-11月、通期は3月-2月の平均価格

\*2 米国メキシコ湾、英領北海、インド洋における石油・ガス開発事業の合計

\*3 上記の石油・ガス開発事業を含む、連結対象会社の生産分与契約に基づく持分の合計

\*4 2019年度期初計画に対する感応度

\*5 石油・ガス開発事業における感応度